

2025年度 51期生 1年次 カリキュラム 一覧

分野	学科目	学習内容	単位	講義時間	講義回数	講師名	配点	実務経験の有無	ページ
基礎分野	論理学		1	30	30	15 外部講師	100	無	1
	教育学		1	30	30	15 外部講師(看護師)	100	有	2
	倫理学		1	30	30	15 外部講師	100	無	3
	心理学		1	30	30	15 外部講師	100	有	4
	人間関係論Ⅰ	人間関係基礎論	1	15	15	8 済生会職員(臨床心理士)	100	有	5
	社会学		1	30	30	15 外部講師	100	無	6
	英語Ⅰ		1	30	30	15 外部講師	100	無	7
	ソーシャルインクルージョン		1	15	15	8 副校長(看護師)	100	有	8
	運動と健康		1	15	15	8 外部講師	100	無	9
専門基礎分野	解剖生理学		1	15	15	8 済生会職員(医師)	100	有	10
	生化学		1	30	30	15 外部講師	100	無	11
	栄養学	栄養学	1	30	12	6 済生会職員(管理栄養士)	30	有	12
	栄養学	食事療法			10	5 済生会職員(管理栄養士)	70		
	栄養学	食事療法(調理実習)			8	4 済生会職員(管理栄養士)			
	解剖生理学・病態臨床学Ⅰ(脳神経)	脳・神経	1	15	15	8 済生会職員(医師)	100	有	13
	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ(感覚器・歯・口腔・皮膚)	眼	1	30	4	2 済生会職員(医師)	15	有	14
	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ(感覚器・歯・口腔・皮膚)	眼			4	2 済生会職員(医師)	15		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ(感覚器・歯・口腔・皮膚)	耳鼻			8	4 済生会職員(医師)	25		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ(感覚器・歯・口腔・皮膚)	口腔			6	3 済生会職員(看護師)	20		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ(感覚器・歯・口腔・皮膚)	皮膚			8	4 済生会職員(医師)	25		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅲ(呼吸器)	呼吸器	1	15	15	8 済生会職員(医師)	100	有	15
	解剖生理学・病態臨床学Ⅳ(血液・循環器)	循環器	1	30	6	3 済生会職員(医師)	20	有	16
	解剖生理学・病態臨床学Ⅳ(血液・循環器)	循環器			14	7 済生会職員(医師)	50		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅳ(血液・循環器)	血液・造血器			10	5 済生会職員(医師)	30		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅴ(消化器)	胃腸	1	30	20	10 済生会職員(医師)	70	有	17
	解剖生理学・病態臨床学Ⅴ(消化器)	肝胆膵			10	5 済生会職員(医師)	30		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	内分泌	1	30	8	4 済生会職員(医師)	25	有	18
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	糖代謝			4	2 済生会職員(医師)	15		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	糖代謝			2	1 済生会職員(医師)	10		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	膠原病			4	2 済生会職員(医師)	25		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	膠原病			4	2 済生会職員(医師)			
	解剖生理学・病態臨床学Ⅵ(内分泌・代謝・膠原病・感染症)	感染症			8	4 済生会職員(医師)	25		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅶ(腎・泌尿器・女性生殖器)	腎	1	30	16	8 済生会職員(医師)	50	有	19
	解剖生理学・病態臨床学Ⅶ(腎・泌尿器・女性生殖器)	泌尿器			6	3 済生会職員(医師)	20		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅶ(腎・泌尿器・女性生殖器)	女性生殖器			6	3 済生会職員(医師)	20		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅶ(腎・泌尿器・女性生殖器)	乳腺			2	1 済生会職員(医師)	10		
	解剖生理学・病態臨床学Ⅷ(運動器)	運動器	1	15	15	8 済生会職員(医師)	100	有	20
	病理学		1	30	16	8 済生会職員(医師)	50	有	21
	病理学				14	7 済生会職員(医師)	50		
	薬理学		1	30	30	15 済生会職員(薬剤師)	100	有	22
	微生物学		1	15	10	5 済生会職員(臨床検査技師)	50	有	23
	微生物学				5	3 済生会職員(臨床検査技師)	50		
	臨床治療総論	臨床検査	1	30	10	5 済生会職員(臨床検査技師)	30	有	24
	臨床治療総論	生理検査			4	2 済生会職員(臨床検査技師)	15		
	臨床治療総論	麻酔の看護・合併症			4	2 済生会職員(医師)	15		
	臨床治療総論	放射線			2	1 済生会職員(診療放射線技師)	10		
	臨床治療総論	リハビリ			2	1 済生会職員(理学療法士)	10		
	臨床治療総論	臨床見学			8	4 専任教員(看護師)	20		
	保健医療論		1	15	15	8 済生会職員(医師)	100	有	25

分野		学科目	学習内容	単位	講義時間		講義回数	講師名	配点	実務経験の有無	ページ
専門分野	基礎	看護学概論		1	30	30	15	副校長(看護師)	100	有	26
		看護技術総論	総論・安全安楽・生活環境	1	15	15	8	専任教員(看護師)	100	有	27
		コミュニケーション技術	コミュニケーション	1	30	14	7	専任教員(看護師)	60	有	28
		コミュニケーション技術	演習			4	2	専任教員(看護師)	40		
		コミュニケーション技術	学習支援			12	6	専任教員(看護師)	40		
		看護過程	看護過程	1	30	30	15	専任教員(看護師)	100	有	29
		フィジカルアセスメント	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント	1	30	30	15	専任教員(看護師)	100	有	30
		生活援助技術Ⅰ（活動・休息・清潔・衣生活）	活動・休息・清潔・衣生活技術	1	30	30	15	実習指導教員(看護師)	100	有	31
		生活援助技術Ⅱ（食事・排泄）	食事・排泄	1	30	30	15	実習指導教員(看護師)	100	有	32
		診療に伴う技術Ⅰ（与薬・検査）	与薬	1	30	16	8	専任教員(看護師)	100	有	33
		診療に伴う技術Ⅰ（与薬・検査）	検査			14	7	専任教員(看護師)			
		診療に伴う技術Ⅱ（呼吸・循環・創傷・救命救急処置）	循環・吸入・輸血	1	30	10	5	専任教員(看護師)	30	有	34
		診療に伴う技術Ⅱ（呼吸・循環・創傷・救命救急処置）	創傷・呼吸			14	7	専任教員(看護師)	50		
		診療に伴う技術Ⅱ（呼吸・循環・創傷・救命救急処置）	救命救急処置技術			6	3	済生会職員(看護師)	20		
	暮らしと看護Ⅰ	暮らしと健康（フィールドワーク）	1	30	30	15	教務主任(保健師) 専任教員(看護師)	100	有	35	
	成人	成人看護学概論	概論・経過別	1	30	14	7	専任教員(看護師)	100	有	36
		成人看護学概論	保健論・RT			16	8	教務主任(保健師)			
		成人看護援助論Ⅰ（急性期の看護）	クリティカルケア(ICU)	1	30	6	3	済生会職員(看護師)	20	有	37
		成人看護援助論Ⅰ（急性期の看護）	循環器障害を持つ患者の看護			8	4	済生会職員(看護師)	25		
		成人看護援助論Ⅰ（急性期の看護）	肝機能障害をもつ患者の看護			10	5	済生会職員(看護師)	35		
		成人看護援助論Ⅰ（急性期の看護）	感覚器に障害のある患者の看護			6	3	済生会職員(看護師)	20		
		成人看護援助論Ⅲ（回復期の看護）	呼吸器に障害のある患者の看護	1	30	8	4	済生会職員(看護師)	25	有	38
		成人看護援助論Ⅲ（回復期の看護）	身体機能の一部喪失した患者の看護			6	3	済生会職員(看護師)	20		
		成人看護援助論Ⅲ（回復期の看護）	脳神経障害を持つ患者の看護			8	4	済生会職員(看護師)	25		
		成人看護援助論Ⅲ（回復期の看護）	運動器に障害のある患者の看護			8	4	済生会職員(看護師)	30		
		老年	老年看護学概論	概論・保健論	1	30	30	15	専任教員(看護師)	100	有
	小児	小児看護学概論	概論・保健論	1	30	30	15	教務主任(看護師)	100	有	40
	母性	母性看護学概論	概論	1	30	8	4	外部講師(看護師)	25	有	41
		母性看護学概論	保健論			22	11	専任教員(看護師)	75		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ			1	45	実習要項参照		専任教員(看護師)	100	有	
				実務経験「有」の教員等の授業科目の単位数合計						36	

【1単位 認定試験の受験資格】

①講義回数 8回の場合： 6回以上出席が必要

②講義回数 15回の場合： 10回以上の出席が必要

③講義回数 23回の場合： 16回以上の出席が必要

*災害救護訓練に参加できなかった場合、次年度訓練に参加した後認定試験を受験することができる。

*前年度単位認定されていても、再履修し60点未満であった場合再試験は受験すること。

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	論理学			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	無
授業目標	論理的な考え方、論理的な表現方法の技術を学び、論理的思考力、文章表現力を養う。				
授業計画	毎回、下記項目の内容を盛り込んだ授業を行う。 1.論理的な表現方法の基礎技術を学ぶ 2 論理的な文章を読み解く 3 論理的な文章を書く 演習 授業時間内に、授業内容応じて1から4へ段階的に進めながら行う。 1.様々な文章を読み、論理的な考え方や伝え方に慣れる 2.様々な文章を要約し、論理的な表現方法や技術を学ぶ 3.様々な文章を元に、自分の考えを論理的にまとめる 4 論理的な文章を書く				
教科書	看護学生のための科学的作文レッスン(電子版)				
参考書	配布資料				
授業の進め方	毎回、本や新聞記事の論理的文章の一節などを紹介、これを題材にして、読み解き・要約・作文・推敲などの演習作業をする。				
評価の方法	提出物（講義中のワーク提出物平均点）50点 認定試験（文法30点＋作文20点）50点 合計100点満点で評価				
メッセージ	授業時間内にしっかりと、読む・書く・考える・に取り組み、提出物は必ず期限内に提出すること。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	教育学			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	人間形成における教育の機能が理解できる。 教育の本質を学び、看護活動において教育的役割に応用できる基礎的知識を学ぶ。				
授業計画	1. 看護師にとっての「教育学」を学ぶ意義 「教育学」とは何か 教育者と学習者の関係 2. 教育/学習理論 「子ども中心の教育」ルソー、ペスタロッチ、フレーベル 「子どもの認知機能の発達論」ピアジェ 「成人学習理論」ノールズ 3. 教育方法の理論「教育的指導論」 4. 「看護教育学」とは何か 看護教育制度 5. 看護学教育課程 看護と養護教諭 6. 7. 「看護師の仕事」を伝えなくて教える授業プランづくり 8. 9. PP発表8分 10. 11. 「新型コロナ感染拡大防止に向けて今、取り組むべきこと」への指導プランづくり & 「禁煙指導」の対象患者とその家族への指導プランづくり 12. 13 PP発表8分 14. 教育の目標と評価 15. 認定試験				
教科書	配布資料 参考テキスト（教育学 医学書院）				
参考書	《系統看護学講座 専門分野Ⅱ》 成人看護学【2】呼吸器				
授業の進め方	講義 グループワーク プレゼンテーション				
評価の方法	認定試験 60点＋パワーポイント発表×2回＝40点 認定試験とパワーポイントを合計して100点満点とする。				
メッセージ	教育学と看護教育学の関連を理解して下さい。 教育や保健医療の場において期待される教育的機能と、その役割を果たすために必要な教育理論を活用した個別・集団教育の方法および、教育指導案の作成や健康教育計画の立案・実施ができる能力を習得してほしいです。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	倫理学			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	無
授業目標	社会生活や職業生活を営む上で知っておかなければならない根本的規範や基礎的知識について学ぶ。				
授業計画	学問上の分類から言えば、「倫理学」は、ものごとについて考えたり行動する際の規範となる道徳的な評価とか価値判断について理解し、これを身につけようとする哲学の一分野である。 大切なことは、「倫理学」の学習が、社会生活や職業生活を営む上で「生き生きとした有意な教養」となること、言い換えれば、自らの「ライフステージ」を構築する上での指針となれば最善である。 そのためには、今日の複雑な現代社会の基本的な理解や、深い人間的な理解に根ざした「生き方・在り方」の探求、人とのふれあいに際しての心に響くコミュニケーション力などについて考察することが必要である。 以上のような視点・観点から本講義では次のように授業を展開する。 1. 「現代社会」の特徴の多面的な考察 2. 社会人基礎力を身につける 3. 教養や品性の体現と倫理学の目指すところ 4. 20代にやっておきたいこと 5. コミュニケーション力と知の力 6. 対人関係の基礎と基本的人権の尊重 7. 「生きる」ことの意味 8. 自分を磨く				
教科書	なし				
参考書	配布資料				
授業の進め方	配布するプリントに沿って、授業を展開する。また、「現代社会」の動向に興味・関心を持ち理解を深めるため、毎回授業の初めに新聞記事を取り上げ解説する。				
評価の方法	認定試験100点満点				
メッセージ	患者さんと家族の方々から「寄り添っていただいた」「出会えてよかった」と感謝される看護師になってください。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	心理学			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	カウンセラーとしての 実務経験有
授業目標	人間を心理的側面から理解し、人間の行動、人間関係を成立させるための知識を学ぶ。				
授業計画	1回：自己概念と自尊感情 抑圧とエンパワメント 2回：性の多様性と可変性 『セクシュアル・マイノリティ理解のために』 3回：日本国憲法と心理学～主権在民・平和主義・基本的人権～ 大阪のおばちゃん訳 4回：DV&虐待の実態と心理 『パパ、ママをぶたないで』 5回：デートDVの心理 『すてきな関係を築くために（ケース1～3）』 6回：被害者の心理とPTSD（トラウマ後ストレス障害） 7回：「障害」をどうとらえるか？『車椅子の私が好き～安積遊歩さん』 8回：発達障害の理解と包括的支援 絵本『ありがとう フォルカー先生』 9回：育児と心理～ワーク・ライフ・バランスの必要性『クレイマー・クレイマー』 10回：介護と心理～おひとりさまの老後 『折り梅』 11回：災害心理学～「逃げる」ということ 『福島の子どもたち』『スイシンジャー』 12回：集団ダイナミクス「同調」「服従」「合理化」の心理 13回：アサーティブ・トレーニング～さわやかな自己表現を求めて 14回：治療共同体アミティ（米国受刑者更生施設）『隠された過去からの叫び』 15回：子どもの安心・自信・自由を守るために～子どもへの暴力防止（CAPの紹介）				
教科書	なし				
参考書	配布資料				
授業の進め方	レジメ、視覚教材（DVD・ビデオ）を用いての講義だけでなく、ロールプレイやグループワークなどの参加体験型授業も取り入れる。 歌・手話・クイズ・詩の朗読もあるので、リラックスして出席してほしい。				
評価の方法	毎回、講義後、ミニ感想を提出してもらいます。 最終日のテストとミニ感想、授業態度を合わせて採点評価します。				
メッセージ	興味をもってテーマに取り組み、自他や社会を理解するための枠組みを広げ、テーマを深く掘り下げながら、人の心理の奥深さに気づいていってください。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	人間関係論Ⅰ			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	臨床心理士としての 実務経験有
授業目標	人間関係を理解するための心理学の概念や理論を学ぶ。				
授業計画	- 人間関係の中の自己と他者 （１）人間関係論とは （２）自己認知 （３）対人認知 - 対人関係と役割 （１）対人関係の成立 （２）対人関係の維持と崩壊 （３）個人の利益と全体の利益 （４）対人葛藤と対処 （５）社会的役割 - 態度と対人行動 （１）態度と態度変化 （２）説得的コミュニケーション （３）攻撃 （４）援助 - 集団と個人 （１）集団の特性 （２）集団での課題遂行 （３）集団での問題解決と意思決定 （４）リーダーシップ - 保健医療チームの人間関係 （１）医療におけるチームと看護師の役割 （２）チームワークとチームエラー （３）チームにおけるコミュニケーションエラーとその予防 （４）多職種連携に向けて - アサーティブ-コミュニケーション （１）アサーションの理論とスキル （２）看護への応用 - コーチング （１）コーチングの理論とスキル （２）看護への応用 - コミュニケーション （１）コミュニケーションとは （２）対人コミュニケーション （３）マスコミュニケーション （４）ICTの発達とコミュニケーション				
教科書	人間関係論(医学書院)				
参考書	特になし				
授業の進め方	講義 個人ワーク グループワーク 上記授業計画の内容について、適宜補足しながら解説する				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	人間関係を理解するために、まず自分がどんな人なのか、どんな振る舞いが得意で苦手かをとらえてみましょう。 次いで、他者にどんな風にアプローチできるのかを考えてみましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

[illegible]

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	英語 I			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	無
授業目標	英語の読解力と基礎的な文章表現力、英会話力を養う。				
授業計画	1.Getting to Know the Patients 1 2.Getting to Know the Patients 2 3.Getting to Know the Patients 3 4.Getting to Know the Patients 4 5.Examination1 6.Examination2 7.Instructing Medication 8.Treating the Patients1 9.Treating the Patients2 10.Treating the Patients3 11.Operation 12.Pregnancy 13.In the Hospital 14.Emergencies 15.Living a Healthy Life				
教科書	実践看護英語-専門用語の習得と英会話能力の養成-				
参考書	配布資料				
授業の進め方	基本的には、教科書をベースとして進めるが、あえて脱線してできるだけ英語に興味をもってもらうように進める。				
評価の方法	中間と最終と2回のテストを実施する。 但し、中間のテストは興味を計るもので、成績には関係ない。				
メッセージ	看護師として必要な英語力が身につくように努力いたします。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	ソーシャルインクルージョン			担当講師名	副校長
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	ソーシャルインクルージョンの理念を理解する。また、その実現に向けた保健・医療・福祉における活動を学ぶ。				
授業計画	1. ソーシャルインクルージョンの理念と済生会の理念 2. 保健・医療・福祉における活動（グループ学習） （目的）ソーシャルインクルージョンの実現に向けた保健・医療・福祉における活動状況や社会に果たす役割を理解する。 （学習方法）興味・（ソーシャルインクルージョンの取り組み）関心のある保健・医療・福祉における活動に焦点をあて調査する。文献・インターネット、関係者へのインタビューなどで調べ、理解を深める。 グループワーク1：調査内容・調査方法の決定 グループワーク2：調査 グループワーク3：調査 グループワーク4：調査・まとめ グループワーク5：資料・発表内容の決定、プレゼンテーションの準備 発表 3. 個人レポート作成				
教科書	なし				
参考書	・雑誌「済生」 ・SDGsと済生会－ソーシャルインクルージョンが拓く明日－ ・まちをつむぐ－1541の決意 済生会ソーシャルインクルージョン推進計画－ ・いのちに寄り添い100年 ・済生会の向かうべき道 ・済生会物語				
授業の進め方	演習				
評価の方法	学習の取組み・報告書・発表 個人レポート テーマ「ソーシャルインクルージョンと済生会」（1000文字程度）				
メッセージ	ソーシャルインクルージョンを学ぶと共に、「済生の心」が育まれることを期待しています。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	運動と健康			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	無
授業目標	健康づくりと運動の関連を理解し、生涯にわたって健康的で活動的な生活を営むための基礎を学ぶ。				
授業計画	1. スポーツの意義と方法 2. 実技 ドッジボール バスケットボール バドミントン バレーボール ドッチビー パラスポーツ（ボッチャ、ゴールボール、フロアバレーボール等）				
教科書	なし				
参考書	配布資料				
授業の進め方	みなさんと共に授業内容を決め、進めていきます。				
評価の方法	出席状況：10%、授業態度：90%				
メッセージ	運動の得意な人、苦手な人も思いきりからだを動かし、みんなで楽しくスポーツを行い、リフレッシュしましょう。スポーツ実習であることから、運動のできる服装（ジャージ等）と屋内・屋外シューズを用意してください。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	人体の発生・構成について理解し、形態と機能を系統的に学ぶ。				
授業計画	第1回：序 人体の構造と機能を学ぶために、第1章 解剖生理学のための基礎知識 第1章A 構造からみた人体 ①人体の階層性、②体表から見える人体の部位、③骨格による人体の区分、④人体の内部にある腔所、⑤方向と位置を示す用語 第2回：第1章B 人体のさまざまな器官 1：機能からみた人体と器官系 ①働きからみた器官系の分類、②生命維持システム（植物機能）、③運動・情報システム（運動機能） 2：全身に広がる人体の器官①身体を包む皮膚、②末梢神経 3：部位による人体の器官①頭部の器官、②頸部の器官、③胸部の器官、④腹部の器官、⑤骨盤部の器官 第3回：第1章C 素材からみた人体 ①細胞の構造、②細胞を構成する物質とエネルギーの生成 第4回：第1章C 素材からみた人体、B 素材からみた人体 ③細胞膜の構造、④細胞の増殖と染色体 第5回：B 素材からみた人体 ⑤分化した細胞が作る組織⑥腔所を囲む組織 第6回：第11章 体表からみた人体の構造 ①体表から触知できる骨格部分、②体表から触知できる大きな筋、③体表から触知できる動脈、④体表から触知できる静脈 第7回：第9章－C体温とその調節 第5章 C体液の調節 第9章①熱の出納、②体温の分布と測定、③体温調節、④発熱、⑤高体温と低体温 第5章①水の出納、②脱水、③電解質の異常、④酸塩基平衡 第8回：成人看護4 血液造血器 第2章 血液の整理と造血のしくみ A 血液の成分と機能①血球の性状と機能、②止血機構と線溶、③免疫応答 B 造血のしくみ①造血の3要素、②血液細胞の分化				
教科書	人体の構造と機能（1）解剖生理学（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	ヒトの身体のしくみと働きを知ることは、医学を学ぶ基本です。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	生化学			担当講師名	外部講師
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	無
授業目標	化学的知識をもとに人体の構成成分である化学物質の性状・その分布及び代謝について学ぶ。				
授業計画	1. 生化学を学ぶための基礎知識 2. 化学結合と分子 3. 代謝の基礎と酵素・補酵素 4. 糖質の構造と機能 5. 糖質代謝 6. タンパク質の構造と機能 7. タンパク質代謝 8. 脂質の構造と代謝 9. 細胞膜と情報伝達 10. 遺伝子と酸核 11. 遺伝子の複製・修復・組換え 12. 転写 13. 翻訳と翻訳後修飾 14. シグナル遺伝 15. がん				
教科書	人体の構造と機能（2） 生化学（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	栄養学			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	管理栄養士としての 実務経験有
授業目標	人間にとっての栄養の意義を認識し、食事療法の基本を学ぶ。				
授業計画	<栄養学>（6回：12時間） 1. 人間栄養学と看護、栄養素の種類とはたらき 2. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 その1 3. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 その2 4. 体内のエネルギーバランス・食品と食事 5. 栄養ケア・マネージメント 6. ライフステージと栄養、臨床栄養 <食事療法>（5回：10時間） 1. 栄養食事療法とは 医療保険制度・介護保険制度 2. 呼吸器・循環器疾患患者の栄養食事療法 3. 消化器疾患の食事栄養療法 4. 腎疾患の食事栄養療法 5. 血液疾患、がん、食物アレルギー患者の栄養食事療法 <食事療法>（2回：4時間） 1. 栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法 2. 熱傷・褥瘡、精神・神経疾患、術前・術後、ライフステージに応じた栄養食事療法 <調理実習>（2回：4時間）				
教科書	人体の構造と機能（3）栄養学（医学書院） 栄養食事療法（医学書院）				
持参物	計算機				
授業の進め方	講義・調理実習 原則、教科書に沿って進めます。その時々話題、新しい情報も取り入れて説明していきたいと思います。				
評価の方法	筆記試験と授業態度				
メッセージ	臨床において患者個々の栄養管理が重要視され、看護部門も入院患者の入院時栄養スクリーニングから退院時の評価まで大きくかかわっています。栄養の基礎を学び、栄養の意味を理解し、看護師という専門性を活かした栄養ケア・マネージメントができるように栄養学を習得してください。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学Ⅰ（脳神経）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	1. 神経生理と解剖で、神経系の理解を得る。 2. 神経障害の検査法を理解してもらう。 3. 基本的な知識を履修した上で、各論として脳神経疾患の講義をする。 出血性脳血管障害、高次機能障害、脳腫瘍、抹消神経障害 中枢神経系感染症、てんかん、神経痛、認知症、先天奇形				
教科書	人体の構造と機能（1）解剖生理（医学書院） 成人看護学（7）脳・神経（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	パワーポイントを用いて講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学Ⅱ（感覚器・歯・口腔・皮膚）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師・看護師としての 実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	眼（医師：2回 4時間、医師：2回 4時間） 1.構造と機能 症状とその病態生理 2.検査・治療・処置 視力検査・眼底検査・レーシック 3.4.疾患の理解 耳鼻（医師：4回 8時間） 1.構造と機能 2.検査・治療・処置 3.4.疾患の理解 皮膚（医師：4回 8時間） 1.構造と機能、スキンケア（DVD使用） 疾患の理解 湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、炎症性角化症 2.疾患の理解 薬疹、膠原病、自己免疫性水疱症、悪性腫瘍 3.疾患の理解 感染症（細菌・真菌・ウイルス・性感染症） 4.疾患の理解 創傷・褥瘡（DVD使用）、動物による皮膚疾患 歯、口腔（看護師：3回 6時間） 1. 歯・口腔の構造と機能 疾患の病態・治療・検査 2.口腔、咽頭機能障害（咀嚼・嚥下・機能障害） 3.口腔内の異常と疾患、摂食・嚥下障害、言語障害、呼吸障害				
教科書	人体の構造と機能（1）解剖生理(医学書院) 成人看護学12皮膚（医学書院） 成人看護学13眼（医学書院） 成人看護学14耳鼻咽喉（医学書院） 成人看護学15歯・口腔（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学Ⅲ（呼吸器）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	1.呼吸器系解剖 2.呼吸器生理 3.呼吸器関連症状とその病態生理 4.検査と治療・処置 5.感染症（感冒症候群、肺結核、肺炎等） 6.間質性肺炎 7.気道疾患、肺循環疾患、呼吸不全等 8.肺・胸膜・縦隔腫瘍等				
教科書	人体の構造と機能（1）解剖生理(医学書院) 成人看護学（2）呼吸器（医学書院）				
参考書	ウェスト 呼吸生理学入門 種々ガイドライン				
授業の進め方	講義 スライドを使用				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学Ⅳ（血液・循環器）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	<循環器> （医師：2回 4時間） 1. 心臓の構造と機能 ①血液の循環とその調節②末梢循環系の構造 （医師：3回 6時間） 2. 検査（聴診、心電図、心血管造影検査、心カテーテル）・処置・治療（手術、ペースメーカー、薬物療法） （医師：5回 10時間） 3. 疾患・症状 血栓症、エコノミー症候群など 虚血性心疾患、その他因子（高血圧）、心不全、弁膜症、心筋症に関することを中心に疾患理解を深める <血液> 医師（5回：10時間） 1. 第3章 A病歴聴取と身体所見 B検査 C症候とその病態生理 A①貧血、②発熱、③リンパ節腫脹・脾腫、④出血傾向、B①末梢血検査、②骨髓穿刺・骨髓生検③出血傾向の検査、④リンパ節生検、⑤細胞表面マーカー、⑥染色体検査、⑦遺伝子検査、C①貧血、②白血球増加症、③白血球減少症、④脾腫、⑤リンパ節腫大、⑥出血性素因 2. 第4章 A赤血球系の異常 B白血球形の異常 A①鉄欠乏性貧血、②鉄代謝異常によるその他の貧血、③巨赤芽球性貧血、④再生不良性貧血、⑤溶血性貧血、⑥二次性貧血 B①無顆粒球症、②顆粒球機能異常症、③伝染性単核球症 3. 第4章 C造血器腫瘍 C①造血器腫瘍とは、②造血器腫瘍の分類、③治療計画とインフォームドコンセント、④造血器腫瘍治療の基本理念、⑤造血器腫瘍治療における支持療法 4. 第4章 C造血器腫瘍 C⑥急性白血病、⑦骨髓異形成症候群、⑧慢性骨髄性白血病、⑨骨髓増殖性腫瘍、⑩慢性リンパ性白血病、⑪成人T細胞白血病リンパ腫 5. 第4章 C造血器腫瘍 D出血性疾患 C⑫悪性リンパ腫、⑬骨髄腫および類縁疾患、⑭血球貪食症候群 D①血管異常による出血性疾患、②血小板異常による出血性疾患、③凝固異常による出血性疾患、④播種生血管内凝固症候群				
教科書	人体の構造と機能（1）解剖生理 成人看護学(3)循環器（医学書院） 成人看護学(4)血液・造血器（医学書院）				
参考書	看護師国家試験問題				
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	忘れない内の復習が大切です。毎回配布されるプリントで復習を必ずして下さい。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学Ⅴ（消化器）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	<胃腸>（医師：10回 20時間） 1. 進化・退化・分化、人体の構造とその理由、上皮組織について 2. 消化器の基本的構造（咽頭・食道・胃・大腸・肛門） 3. 栄養の消化と吸収 4. 疾患（症状・検査・処置・治療） 食道がん 逆流性食道炎 慢性胃炎 胃・十二指腸潰瘍 胃がん 大腸がん 腸炎 クロウン病 潰瘍性大腸炎 虚血性大腸炎 腹膜炎 虫垂炎 <肝胆膵>（医師：5回 10時間） 1. 肝臓と膵臓の構造と機能 2. 疾患（症状・検査・処置・治療） 肝炎 肝硬変 肝臓がん 膵炎 膵臓がん				
教科書	人体の構造と機能（1） 解剖生理 成人看護学(5)消化器（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床学VI（内分泌・代謝・膠原病・感染症）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	<内分泌>（医師：4回 8時間） 1. 内分泌器官の構造と機能 ホルモンのはたらき 2. 内分泌疾患の症状 3. 内分泌疾患（検査・処置・治療） 下垂体前葉機能低下・尿崩症・下垂体前葉機能亢進 甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・副甲状腺機能亢進症、クッシング症候群 <糖尿病>（医師：2回 4時間、医師：1回 2時間） 1. 糖尿病の診断・分類 2. 糖尿病の合併症 3. 糖尿病の治療、療養指導 <膠原病>（医師：2回 4時間、医師：2回 4時間） 1. 関節リウマチ 全身エリテマトーデス 2. 抗リン脂質抗体症候群 3. シェーングレイン、全身強皮症、多発筋炎、混合性結合組織病 4. ベーチェット病、血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛症、成人発症スティル病 <感染症>（医師：4回 8時間） 1. 感染症 現状について（感染制御等） 2. 検査・治療（抗菌薬適正使用等） 3. 多剤耐性菌 4. 結核・HIV・新興再興感染症				
教科書	成人看護学（6）内分泌・代謝（医学書院） 成人看護学（11）アレルギー・膠原病・感染症（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床Ⅶ（腎・泌尿器・女性生殖器）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	<腎>（医師：8回 16時間） 1-2.腎系の構造と機能 尿の生成、ホルモン、酵素のはたらき 3. 症状・検査 排尿障害・尿量異常・尿性状の異常、腎疾患における血液の異常 4. 治療 透析療法・移植 5. 疾患 腎臓の病気の種類 ネフローゼ症候群 腎不全 糖尿病性腎症 SLEによる腎症 強皮症 尿細管間質性腎炎 <泌尿器>（医師：3回 6時間） 1. 構造と機能 症状 男性・女性の泌尿器の違い 2. 検査 膀胱鏡・尿道カテーテル 3. 疾患・治療 尿路結石、尿路感染症、腎盂腎炎、尿道炎、精巣捻転 尿失禁 前立腺肥大 過活動膀胱 膀胱がん、腎がん、前立腺がん <女性生殖器>（医師：3回 6時間） 1. 構造と機能 性周期とホルモン 妊娠について 2. 疾患（症状・検査・処置・治療） 性染色体異常 感染症 性疾患 子宮筋腫 子宮癌 卵巣がん 子宮外妊娠 無月経など <乳腺>（医師：1回 2時間） 1. 乳腺の構造と働き 2. 乳腺の疾患（症状・検査・処置・治療）				
教科書	人体の構造と機能（1） 解剖生理 成人看護学(8)腎・泌尿器（医学書院） 成人看護学(9)女性生殖器（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	解剖生理学・病態臨床Ⅷ（運動器）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	解剖生理と系統別疾患の病態・治療・検査について学ぶ。				
授業計画	1. 身体の支持と運動 2. 運動器の構造と機能 骨格と筋肉 筋肉と神経 3. 症状とその病態生理 4. 疾患の理解（診断・検査と治療処置） 牽引療法・リハビリテーション・装具・手術療法 骨折 神経の損傷、筋・腱靱帯の損傷 ①脊髄損傷 ②末梢神経損傷 骨・関節の炎症性疾患・筋および腱の疾患 骨腫瘍および軟部腫瘍・神経の疾患 椎間板ヘルニア、骨粗鬆症、サルコペニア オスグッド、シュラッター病、下肢深部静脈血栓症 など				
教科書	人体の構造と機能（1） 解剖生理 成人看護学(10)運動器（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	出席と筆記試験の結果を総合的に判断する				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	病理学			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	臓器・組織・細胞の変化としての病変の観察をすることによって、疾病の成り立ちを理解する。				
授業計画	医師：7回 14時間 1.第1章 病理学で学ぶこと A看護と病理学、B病気の原因、C病気の分類と病理学の学び方 2.第2章 細胞・組織の損傷と修復、炎症 A細胞の損傷と適応 3.第2章 細胞・組織の損傷と修復、炎症 B細胞・組織の損傷に対する反応としての炎症、C炎症の分類と治療 4.第3章 免疫・移植と再生医療 A免疫と免疫不全、Bアレルギーと自己免疫疾患、C移植と再生医療 5.第4章 感染症 A感染の成立と感染症の発病、B主な感染症、C感染症の治療・予防 6.第5章 循環障害 A循環系の概要、B浮腫、C充血とうっ血、D出血と止血、E血栓症、F塞栓症 7.第5章 循環障害 G虚血と梗塞、H側副循環による障害、I高血圧、J播種性血管内凝固症候群（DIC）、Kショックと臓器不全 医師：8回 16時間 8.9.感染症 10.脂質代謝障害 11.蛋白代謝障害.糖尿病 12.黄疸・結石について 13.死の三徴候、死について、緩和ケア 14.先天異常 15.腫瘍				
教科書	疾病のなりたちと回復の促進(1)病理学（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	病気の成り立ち、メカニズムを知りましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	薬理学			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	薬剤師としての実務経験有
授業目標	薬物の種類、特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について必要な薬理学的知識を学ぶ。				
授業計画	1) 薬理学総論① 2) 薬理学総論② 3) 薬理学総論③ 4) 抗感染症薬 5) 抗がん薬 6) 免疫治療薬 7) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 8) 末梢での神経活動に作用する薬物 9) 中枢神経系に作用する薬物① 10) 中枢神経系に作用する薬物② 11) 循環器系に作用する薬物① 12) 循環器系に作用する薬物② 13) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 14) 物質代謝に作用する薬物 皮膚科用薬・眼科用薬 15) 救急の際に使用される薬物 漢方薬 消毒薬				
教科書	疾病のなりたちと回復の促進(2)薬理学（医学書院）				
参考書	薬がみえるシリーズ（医療情報科学研究所）等				
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	微生物			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	臨床検査技師としての 実務経験有
授業目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解して、その対応について学ぶ。				
授業計画	1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質 2. 感染と感染症 3. 感染症の検査と診断 4. 病原細菌と最近感染症 5. 病原真菌と真菌感染症 6. 病原原虫と原虫感染症 7. 病原ウイルスとウイルス感染症				
教科書	疾病のなりたちと回復の促進(4)微生物学				
参考書	特にありません				
授業の進め方	講義 パワーポイントを用い、教科書に沿って進めていきます。				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	微生物学は看護業務と関係ないように感じられると思いますが、業務においては大変重要になってきます。 標準予防策をはじめ感染対策は、看護師を含む医療に関わる全ての職員が正しく実施する必要があります。微生物学の基本を十分学習してください。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	臨床治療総論			担当講師名	済生会職員、専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位（30時間）	実務経験	医師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・看護師としての実務経験有
授業目標	臨床推論や治療を行ううえでの基礎的知識を学ぶ				
授業計画	1.臨床検査（臨床検査技師：5回 10時間） 1)臨床検査とその役割 2)臨床検査の流れと看護師の役割 3)主な臨床検査 (1)一般検査 (2)血液検査 (3)化学検査 (4)免疫・血清学検査 (5)内分泌学的検査 (6)微生物学検査 (7)病理検査 2.生理機能検査（臨床検査技師：2回 4時間） 3.麻酔の看護・合併症（医師：2回 4時間） 1) 麻酔法 2) 全身麻酔、局所麻酔 4.放射線（診療放射線技師：1回 2時間） 1) 画像診断 2) 放射線治療 3) 放射線防御 5.リハビリテーション（理学療法士：1回 2時間） 1) リハビリテーションとは 2) 他動・自動運動の援助の演習 3) 徒手筋力テスト（MMT）の演習 6.各医療技術部門の見学と共有（8時間） 画像診断科・リハビリテーションセンター・栄養科・中央検査科・薬剤科・病理科・中央滅菌材料室 臨床工学科 見学：3時間 ワーク：3時間 共有：2時間				
教科書	臨床検査（医学書院） 臨床放射線医学（医学書院） 臨床外科総論（医学書院） リハビリテーション看護（医学書院）				
参考書	なし				
授業の進め方	講義 PowerPoint使用。教科書に沿って行う。				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	授業前に当日の予定範囲と思われる部分の教科書をざっと読んでおいて欲しい。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	保健医療論			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位（15時間）	実務経験	医師としての実務経験有
授業目標	保健医療の発展、現代の医療システムや保健医療を取り巻く諸問題について学ぶ。				
授業計画	1. 健康の概念、疾病、生活習慣病の要因と対策 2. 生活と健康 3. 現代医療の本質 4. 医師と看護師の業務 医療制度について、臓器移植 守秘義務について 5. 医療供給体制 医療保健 6. 医療の進歩 医療・看護の倫理について 7. 現代医療における諸問題 8. 脳死と臓器移植について				
教科書	医療概論（医学書院）				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護学概論			担当講師名	副校長
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	看護の概念を学び、看護の本質と位置づけ、役割について理解する。また、看護実践を支える法律、看護教育制度、看護倫理といった内容を学ぶことで、「看護とはなにか」を概ね理解できる。				
授業計画	1.看護師とは何をする職業だろうか 2.看護の歴史の変遷 1) 看護の原初から近代看護まで 2) 日本の看護の歴史 3.看護の定義・概念 4.5.看護の対象者の理解 6.看護の役割・機能 7.健康のとらえかた 8.看護活動の場と連携する人々 9.10.看護倫理 11～15.看護実践を支えるもの 1) 看護の法律・制度 2) 診療報酬・看護の動向 3) 看護理論 4) 看護研究・看護専門職の教育制度 試験				
教科書	茂野香おる：基礎看護学[1] 看護学概論 第17版 医学書院 2022				
参考書	1) F.ナイチンゲール著,薄田坦子訳：看護覚え書,現代社 2) V.ヘンダーソン著,湯槇ます,小玉香津子訳：看護の基本となるもの,日本看護協会出版会 3) 手島恵：看護者の基本的責務,日本看護協会出版会				
授業の進め方	講義				
評価の方法	認定テスト 授業前後のミニテスト 提出物 学習の取り組み				
メッセージ	さまざまな視点から看護を学ぶことで、自分の「看護観」を育む第1歩とし、 「看護」に対する理解を深めて欲しいと思っています。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護技術総論			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(15時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	看護の対象者の理解と看護活動の基礎となる技術の原理原則を習得する。				
授業計画	1. 看護技術とは 看護技術の特徴、範囲、適切に実践するための要素 2. 看護技術を支える要素 3. 感染防止の技術 4. 環境調整技術 療養生活の環境、病室の環境、病床環境 5. 演習（衛生的手洗い、個人防護用具、環境整備） 6. ベッドメイキング、リネン交換 7. 演習（ベッドメイキング） 8. 演習（臥床患者のいる状態でのシーツ交換）				
教科書	基礎看護学技術Ⅰ基礎看護学2（医学書院） 基礎看護学技術Ⅱ基礎看護学3（医学書院）				
参考書	看護がみえるvol. 1 基礎看護技術 メディック・メディア				
授業の進め方	講義前後に動画を視聴や、実習室で技術演習を取り入れながら進める。				
評価の方法	講義終了後の認定試験と技術試験				
メッセージ	安全・安楽・感染防止は全ての看護技術に必要な内容です。 原理原則を身につけていきましょう。 「根拠→なぜそうするのか、なぜそれが必要か」を常に意識しながら学習していきましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	コミュニケーション技術			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師・保健師としての 実務経験有
授業目標	看護におけるコミュニケーションの意義と方法を習得する。 看護における学習支援の基礎的能力を養う。				
授業計画	1.コミュニケーション・・・専任教員（看護師）（14 時間） 1）コミュニケーションの意義と目的（コミュニケーションとは） 2）コミュニケーションの意義と目的（看護・医療におけるコミュニケーション） 3）コミュニケーションの構成要素と成立過程 4）関係構築のためのコミュニケーションの基本 5）効果的なコミュニケーションの実際 6）コミュニケーション障害への対応 7）オンラインコミュニケーション、まとめ 8）コミュニケーション演習・・・専任教員（看護師）（4 時間） 9）プロセスレコードについて 2.学習支援・・・専任教員（保健師）（12時間） 1)看護における学習支援 保健行動理論 2)健康状態の変化に伴う学習支援 学習支援の実際 個人を対象者とした学習支援 集団学習支援 3)～6)個人を対象者とした学習支援の実際 演習				
教科書	専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院				
参考書					
授業の進め方	講義形式（専任教員（看護師）） 演習（専任教員（看護師）） 講義と演習 専任教員（保健師）				
評価の方法	講義の終了後に筆記試験を行う（専任教員（看護師））60点 ・ 授業終了後の認定テスト ・ GWの評価点（ピア評価）と課題提出点 （専任教員（保健師））40点				
メッセージ	看護は人と関わる仕事であり、コミュニケーションは看護の基本です。ケアの際の言葉かけや説明、対象者の状態や全体像を正確に把握するための情報収集の方法として大切です。頑張って学習をしましょう。（専任教員（看護師）） 学習支援は教育学の基礎的知識を生かして学んでいきましょう。（専任教員（保健師））				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	看護過程			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	看護過程の基本的構造と具体的展開方法について学ぶ。				
授業計画	1.看護過程とは 1) 看護過程の5つの構成要素 2) 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 2.看護過程の各段階 1) アセスメント（情報の分析と収集） 2) 看護問題の明確化（看護診断） 3) 看護計画 4) 実施 5) 評価 3.看護過程の展開 1) 基本的な事例の展開 情報の分析 解釈・逸脱の判断 関連図 問題の明確化（看護診断） 計画立案・評価 まとめ				
教科書	医学書院 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②				
参考書	医学書院 NANDA-Ⅰ 看護診断 定義と分類 (2024-2026)				
授業の進め方	講義と看護過程演習				
評価の方法	講義終了時のミニテスト 終講試験				
メッセージ	今後、看護を提供するための重要な手段・方法になります。 前半の講義を基に後半は事例を用いて「看護過程」の展開をします。 基本的な用語など活用レベルまで理解していきましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	フィジカルアセスメント			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	対象者の健康状態を観察する意義と方法を習得する。				
授業計画	1.総論 2.バイタルサインとは 体温測定 意識レベル 計測 3.脈拍測定 呼吸測定 4.血圧測定 5.バイタルサイン演習 6.呼吸器系のフィジカルアセスメント 7.循環器系のフィジカルアセスメント 8.腹部のフィジカルアセスメント 9～11.シミュレーション演習 12.筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント 13.報告 14.記録 15.感覚器・外皮のフィジカルアセスメント （演習時には聴診器・体温計・秒針付き時計が必要になります）				
教科書	専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ基礎看護学② 医学書院				
参考書	看護がみえる③ フィジカルアセスメント メデックメディア				
授業の進め方	主に一斉学習形式 技術演習 状況設定のあるシミュレーション演習				
評価の方法	講義の終了後に筆記試験 60点配点 技術試験（バイタルサイン）30点配点 事前学習の提出状況10点配点				
メッセージ	フィジカルアセスメントは看護の基本です。観察することから看護は始まります。観察をする方法、観察してことの正常、異常を判断し今、患者にとって必要な看護は何か、を考えることができるようになることがこの単元の目標です。 一緒に頑張りましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	生活援助技術Ⅰ（活動・休息・清潔・衣生活）			担当講師名	実習指導教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	日常生活に支障をきたす対象者に対して、その必要度に応じた活動・休息、清潔・衣生活の援助技術を学ぶ				
授業計画	1.活動・休息・睡眠 1)基本的活動の意義について 2)体位変換について 体位保持・ポジショニング 活動・休息のアセスメント 移乗・移送について 車椅子への移乗・移送 ストレッチャーへの移乗・移送 3)演習 4)睡眠と休息の意義・援助について 休息・睡眠のアセスメント 2.清潔/衣生活 5)衣生活援助の基礎知識 衣生活のアセスメント 病衣の選び方・寝衣交換・おむつ交換 6)おむつ交換・寝衣交換 演習 7)清潔援助の意義について 清潔のアセスメント 8)援助の実際 全身清拭・陰部洗浄・入浴・シャワー浴・洗髪・手浴・足浴 9)10)全身清拭・陰部洗浄 演習 11)12) 洗髪・足浴 演習 13)援助の実際 口腔ケア・整容 14)口腔ケア演習 3.死後の処置 15)死後の看取りの援助				
教科書	基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③（医学書院）				
参考書	看護が見える Vol.1 基礎看護技術 メディック・メディア				
授業の進め方	講義、演習				
評価の方法	認定試験、技術試験、提出物				
メッセージ	課題をしてもらいつつ講義を進めていきます。根拠に基づき安全安楽な援助をするため、知識・技術が習得できるように頑張しましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	生活援助技術Ⅱ（食事・排泄）			担当講師名	実習指導教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	日常生活に支障をきたす対象者に対して、その必要度に応じた食事・排泄技術を学ぶ。				
授業計画	1. 食事援助技術（10時間） 1）食事と栄養の意義 健康な食生活と食事摂取基準、食事と栄養のアセスメント 2）食事介助の基礎知識、援助の実際 摂食・嚥下障害のある患者の援助 3）非経口栄養摂取の援助 経管栄養 4）経管栄養法 中心静脈栄養法 5）食事介助演習 2. 排泄援助技術（20時間） 1）排泄の意義 排泄のメカニズムと排泄のアセスメント 自然排尿・排便への援助 2）自然排尿・排便への援助 便器・尿器・ポータブルトイレでの排泄（演習） 3）排泄を促す援助（感染防止技術の感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、感染性廃棄物の取り扱い） 4）排泄を促す援助（演習）滅菌バッグの開封、撮子・鉗子の取り扱い、滅菌手袋 5）一時的導尿・持続的導尿 6）7）一時的導尿・持続的導尿（演習） 8）浣腸 グリセリン浣腸・摘便 9）グリセリン浣腸（演習） 10）排泄を促す援助のまとめ				
教科書	基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3（医学書院）				
参考書	<食事><排泄> 看護が見える Vol.1 基礎看護技術 メディック・メディア 看護が見える Vol.2 臨床看護技術 メディック・メディア				
授業の進め方	<食事>講義中心に進める。食事介助については演習を行う。 <排泄>講義。排泄援助、無菌操作、導尿、浣腸については演習を行う。				
評価の方法	<食事>終講後の認定試験と課題レポートで評価する。 <排泄>講義と演習を行う。排泄援助、無菌操作、導尿、浣腸については演習を行う。 終講後の認定試験と課題レポートで評価する。				
メッセージ	<食事>患者さんにとって食事とは療養生活のなかで、どのような位置づけにあるのでしょうか。 安全・安楽・自立面に配慮した食事介助ができるようになります。また、経口摂取できない方への援助の方法も学習しましょう。 <排泄>患者さんにとって排泄とは療養生活の中でどのような位置づけにあるのでしょうか。 安全・安楽・自立面に配慮した排泄介助ができるようになります。また、物品の清潔・汚染（不潔）の区別ができるようになります。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	診療に伴う技術Ⅰ（与薬・検査）			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	与薬・検査時の技術を学ぶ				
授業計画	専任教員（8回 16時間） 1. 与薬の基礎知識 1) 与薬に関する基礎知識、経口与薬、口腔内与薬 2) 点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬、注射の基礎知識 3) 注射の準備と実施法：皮下注射、皮内注射 4) 筋肉内注射、静脈内注射 5) 点滴、輸液の速度調節 6) 輸液ポンプ、シリンジポンプ、中心静脈カテーテルの介助 7) 演習：注射針と注射筒の取り扱いと皮下注射 8) 演習：筋肉内注射、輸液の速度調節、三方活栓の取り扱い方法、輸液ポンプとシリンジポンプの使用方法 専任教員（7回 14時間） 検査・処置の看護師の役割 検査・処置の基礎知識・援助の実践 1) 尿、便、喀痰 2) 3) 4) X線撮影、CT、MRI、エコー、上部消化管内視鏡、呼吸機能、核医学検査、心電図検査 5) 穿刺の介助（胸腔、腹腔、腰椎、骨髄） 6) 静脈血採血 7) 静脈血採血演習				
教科書	専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院				
参考書	看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディック・メディア 看護が見える vol.2 臨床看護技術 メディック・メディア				
授業の進め方	講義と演習				
評価の方法	筆記試験 事前課題				
メッセージ	与薬によるミスが起こった場合、患者の命にもかかわります。 また、演習は、危険と痛みを伴うものであり、講義も演習も真剣に取り組んでほしいと思います。解剖生理学・薬理学での基礎知識や事故防止・感染防止の技術など既存の学習が大切なので、しっかり復習しておいてください。 内容が盛りだくさんです。国家試験にも頻出範囲です。予習復習を習慣づけましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	診療に伴う技術Ⅱ（呼吸・循環・創傷・救命救急処置）			担当講師名	専任教員、済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位30時間	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	呼吸・循環を整える技術、救急・救命処置技術を学ぶ。				
授業計画	専任教員（7回 14時間） 創傷管理技術 創傷の管理と包帯法 褥瘡予防 呼吸・循環を整える技術 酸素療法 排痰ケア 吸引、体位ドレナージ 演習 専任教員（5回 10時間） 電法 体温管理 吸入 輸血管理 済生会職員（3回 6時間） 4.救命救急処置技術 1) 意識レベルの把握 2) 一次救命処置（BLS） 気管内挿管介助 3) AED 4) 止血法				
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院				
参考書	看護が見える Vol.1 基礎看護技術 メディック・メディア 看護が見える Vol.2 臨床看護技術 メディック・メディア 看護が見える Vol.3 臨床看護技術 メディック・メディア				
授業の進め方	教科書をベースにPP使用し、講義を中心に進め、その上で演習を行う。				
評価の方法	終講後の認定試験（専任教員30点・専任教員50点・済生会職員20点）				
メッセージ	内容が盛りだくさんです。国家試験にも頻出範囲です。 予習・復習を習慣づけましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	暮らしと看護Ⅰ			担当講師名	教務主任、専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師・保健師としての 実務経験有
授業目標	地域で生活する人を理解するとともに、看護が提供される多様な場を理解する。				
授業計画	1. 超高齢化社会の現状と岡山市の現状、包括ケアシステム 2.対象となる地域事例の考察 地域調べ（フィールドワークの計画・学内での調査） フィールドワークの課題 ①ライフステージ各期（小児期・成人期・老年期）にある人々の暮らし ②環境と生活と健康の関連（自然環境・社会的環境・生活の場） 3.フィールドワークの事前調査・・・1時間 4-5.学校所在地周辺の地域調べ（フィールドワーク） 6-7.フィールドワークのまとめ 8.フィールドワークの発表 まとめ 9-12. A：施設で暮らしている人、在宅で療養しながら暮らしている人の生活を知る・・・4時間 腎臓病センター（外来センター病院）デイケアセンター、デイサービスセンター（ライフケア） やよいの里・なごみ苑、たちばな苑・なでしこ苑・みなみがた荘（ライフケア） B：病院で療養する人の生活を知る（病棟）・・・5時間 13-14.A、Bについてグループワーク・・・3時間 15.施設見学発表とまとめ				
教科書	地域・在宅看護論（1）地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論（2）地域・在宅看護の実践 医学書院				
参考書	池西静江編著：基礎からわかる 地域・在宅看護論.照林社,2021.				
授業の進め方	講義、フィールドワーク、ジョブシャドウイング				
評価の方法	提出した記録内容 グループワークによるピア評価、個人レポート				
メッセージ	学校周囲で暮らす人々がどのような生活をしているか、五感を通して調査してみましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護学概論			担当講師名	専任教員、教務主任
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師・保健師としての 実務経験有
授業目標	人間のライフサイクルにおける成人期の特徴を身体面、精神面、社会面から知るとともにその時期の対象に対する看護活動の概要について把握する。 成人期における健康の保持増進・疾病予防のための成人保健活動について学ぶ。				
授業計画	1. 成人の特徴 エリクソンによる発達段階 2-3. 課題をもとに青年期・壮年期・中年期・向老期の身体的、精神的、社会的特徴について 4. 成人の特徴についてまとめ 5. 成人の保健問題の動向 ①統計：人口、死亡率、受療状況 など 6. 成人の保健問題の動向：生活習慣 7. 保健・医療・福祉システム ① 健康日本21 ② 健康増進法 ③ がん対策基本法 ④ 特定健康診査と特定保健指導 8. 成人への看護アプローチの基本 ① 大人の学習 ② トランスセオレティカルモデル 9. 成人の健康レベルに対応した看護 ①健康増進期 10-12 成人の健康レベルに対応した看護 ②急性期 ③慢性期 ④回復期 ⑤終末期 13.生活習慣に関連する健康問題と生活習慣病の予防について 14. 職業性疾病 労働安全衛生法 産業保健活動 トータルヘルスプロモーション 15. 放射線療法を受ける患者の看護 1～4、10～12 専任教員（14時間 7回） 5～9 13～15 教務主任（16時間 8回）				
教科書	・系統看護学講座 専門5 成人看護学1 成人看護学総論，医学書院				
参考書	国民衛生の動向				
授業の進め方	・講義と演習（グループワーク）を中心に進める				
評価の方法	・授業終了後の認定テスト				
メッセージ	・成人期を学ぶとともに自分のこれからの生活習慣、人生を考えていきましょう。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護援助論Ⅰ（急性期の看護）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	急激な身体の変化に対応しうる看護の基本を学ぶ。 突然、生命の危機状態に陥った患者及び家族への看護を学ぶ。				
授業計画	1. クリティカルケア・・・ 6時間 1) クリティカルケア看護の特性、クリティカルケアにおける看護管理とチーム医療 2) クリティカルな状態の患者の病態の理解と看護 3) クリティカルケア看護に必要な看護技術 2. 循環器障害をもつ患者の看護・・・ 8時間 1) 虚血性心疾患患者の看護 2) 心不全の患者の看護 3) 不整脈を有する患者の看護 4) 動脈系疾患患者の看護 3. 肝機能障害をもつ患者の看護・・・ 10時間 1) 肝臓の働き、診断に関連した検査、検査時の看護 2) 胆石症、胆道および膵管の検査、検査時の看護 3) 肝炎の病態および看護、急性肝不全、薬剤性肝害アルコール性肝障害、脂肪肝・非アルコール性脂肪肝炎、自己免疫性肝炎の看護 4) 肝硬変患者の看護、食道静脈瘤硬化療法の看護 5) 肝臓がん患者の看護 4. 感覚器に障害のある患者の看護・・・ 6時間 1) 患者の特徴を把握し、感覚機能障害によっておこる身体的変化、コミュニケーション障害に伴う心理、社会問題について学ぶ。 2) 感覚機能障害によって、患者・家族における問題を理解する。 3) 患者・家族のニーズにあった適切な看護のあり方を学ぶ。				
教科書	・系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学，医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学3 循環器，医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学5 消化器，医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学13 眼，医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学14 耳鼻咽喉，医学書院				
参考書					
授業の進め方	講義				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	成人看護援助論Ⅲ（回復期の看護）			担当講師名	済生会職員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	回復期の患者に起こっている機能障害に伴う看護を学ぶ。				
授業計画	1. 呼吸器に障害のある患者の看護（4回：8時間） 1）呼吸困難の患者の看護 2）呼吸器疾患の薬物療法を行う患者の看護 3）呼吸器の手術を受ける患者の看護 4）呼吸器疾患の検査、治療の看護 2. 身体機能の一部喪失した患者の看護（3回：6時間） 1）ストーマ造設について 2）ストーマ造設術前の看護 3）ストーマ造設後の看護 4）ストーマ造設後・回復期の看護 3. 脳神経障害のある患者の看護（4回：8時間） 1）脳神経疾患患者の病態生理、疾患 観察方法 2）脳血管疾患患者及び家族の回復期の看護 4. 機能障害と生活への影響と看護（4回：8時間） 1）検査・処置を受ける患者への看護 2）治療を受ける患者への看護 3）症状に対する看護 4）運動器に障害のある患者の看護 5）運動器の術後の看護 6）主要な運動器疾患の看護				
教科書	・系統看護学講座 成人看護学 2 呼吸器, 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学 5 消化器, 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学 7 脳・神経, 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学 10 運動器, 医学書院				
参考書					
授業の進め方	講義、演習（装具交換）				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ					

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	老年看護学概論			担当講師名	専任教員
対象学生	1学年	単 位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	老年期の特徴を踏まえ高齢者看護の概念を理解する。 高齢者と家族の健康・生活を支える保健・医療・福祉の現状と課題を理解する。				
授業計画	1 (1章) 老いるということ、老いを生きるということ : (1回・2回) 1) 加齢と老化 2) 加齢に伴う身体的側面の変化 3) 加齢に伴う心理・社会的側面の変化 4) 高齢者の定義 5) 発達課題 2 (2章) 超高齢社会と社会保障 : (3回・4回・5回・6回・7回) 1) 超高齢社会の統計的輪郭 ・ 超高齢社会の現況、高齢者と家族、高齢者の健康状態、高齢者の死亡、 高齢者の暮らし 2) 高齢社会における保健医療福祉の動向 ・ 保健医療福祉制度の変遷、介護保険制度の整備、高齢者医療のしくみ 3) 高齢者の権利擁護 ・ 高齢者差別、高齢者虐待、身体拘束、権利擁護のための制度 3 (3章) 老年看護のなりたち : (8回) 1) 老年看護の役割・特徴 2) 老年看護における理論・概念の活用 4 (4章) 高齢者のヘルスアセスメント 1) ヘルスアセスメントとCGA : (9回) 2) 身体の高齢変化とアセスメント : (10回・11回・12回・13回・14回・15回) ・ 皮膚、味覚、臭覚、視覚、聴覚、平衡覚、循環器、免疫、呼吸器、 消化器、泌尿器、睡眠、生殖器、運動器				
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院				
参考書	国民衛生の動向				
授業の進め方	教科書をもとに講義を中心に授業を進める。				
評価の方法	認定試験				
メッセージ	・ 老年看護学の基礎となる内容で、国家試験にも多く出題されている内容です。 毎回授業前に前回の復習を行い、授業終わりには関連する国家試験問題を解きながら理解を深めていきます。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	小児看護学概論			担当講師名	教務主任
対象学生	1学年	単位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	小児看護の対象と小児看護の目的を理解する。 小児各期の成長発達段階の特徴と養育について理解する。				
授業計画	1. 小児看護の特徴と理念 2. 小児看護の倫理 3. 子どもと家族を取り巻く社会 4. 子どもと家族を取り巻く社会 5. 子どもの成長・発達 6. 新生児期の特徴 7. 新生児期の養育 8. 乳児期の特徴 9. 乳児期の養育 10. 幼児期の特徴 11. 幼児期の養育 12. 学童期の特徴と養育 13. 思春期・青年期の特徴 14. 子どもの状況と家族の特徴 15. まとめ				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院				
参考書					
授業の進め方	講義形式で授業をすすめる。 小児看護の特徴について理解を深め、各期の特徴の授業につなげる。 子どもをイメージできるように、GWや演習を取り入れて、実際の日常生活の世話が体験できるようにする。				
評価の方法	筆記試験				
メッセージ	自分の子どもの頃を思い出しながら、子どもに興味を持ってほしい。				

2025年度授業計画（シラバス）

教授科目	母性看護学概論			担当講師名	専任教員、外部講師
対象学生	1学年	単位	1単位(30時間)	実務経験	看護師としての実務経験有
授業目標	母性看護の基盤となる概念を理解するとともに母性の特性や発達段階に応じた女性の健康と健康問題を通じて、母性看護に必要な知識を学ぶ				
授業計画	1.母性看護の基盤になる概念（生命の創造） 2.母性看護の基盤になる概念（親になるとは） 3.母性看護の基盤になる概念（母性とは・ライフプラン） 4.母性看護の基盤になる概念（セクシュアリティ・LGBT・ジェンダー） 5.母性看護の基盤になる概念（リプロダクティブヘルス/ライツ） 6.母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状（母性看護の変遷・母性看護にかかわる指標とその推移） 7.母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状（母性看護にかかわる法律と施策・組織） 8.母性看護の基盤になる概念（母性看護に関する倫理） 9.女性のライフステージ各期における看護（ライフサイクルにおける女性の健康と看護・思春期の健康と看護） 10.女性のライフステージ各期における看護（思春期の健康と看護） 11.女性のライフステージ各期における看護（性成熟期の健康と看護） 12.女性のライフステージ各期における看護（性成熟期の健康と看護） 13.女性のライフステージ各期における看護（更年期・老年期の健康と看護） 14.リプロダクティブヘルスケア（性暴力を受けた女性に関する看護） 15.リプロダクティブヘルスケア（プレコンセプションケア）				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学1				
参考書					
授業の進め方	講義形式で授業を展開、視覚教材を利用し母性看護の歴史的変遷や統計、母性看護を取り巻く環境について考える機会としてほしい。				
評価の方法	終講時の筆記試験・出席状況・レポートなどで評価する				
メッセージ	母性全般を学習し母性看護のあり方について知り、今後の自己の成長発達に役立ててほしい。				